

1 調査目的

急速な少子・高齢化が進む我が国において、活力と魅力に満ちた国づくりを進めるためには、年齢や障害の有無等にかかわらず誰もが社会の活動に参加・参画し、社会の担い手として役割と責任を果たすことの出来る社会を目指すことが必要である。

このような考え方の下、政府が一体となって社会のバリアフリー化を推進するための具体的指針として、バリアフリーに関する関係閣僚会議において、「バリアフリー化推進要綱」を平成16年6月に決定しており、その着実な実施に努めていくこととしている。

内閣府では、要綱に基づきバリアフリー化の推進に取り組んでおり「バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進普及方策に関する調査研究」、「障害者施策総合調査」を実施し、バリアフリー化に関する国民の意識と実態を把握することに努めてきた。ハード施策とソフト施策の総合的なバリアフリー化推進を図るためにも、国民の意識と実態を的確に把握していくことが、引き続き重要である。

本調査は、これらの結果を踏まえつつ、高齢者、障害者、妊娠中の人、子ども連れの人（本報告書では、これらの人々をサポート必要者とする。）の対象者別に、サポートが求められる場面や内容、阻害要因などをたずね、対象者別での違いや健常者との意識の違いなどを整理し、バリアフリー化の推進に資するものとする。

2 調査概要

(1) 対象者

関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、群馬県、栃木県）に居住するサポート必要者と健常者
計500名（内訳）高齢者：90名（70歳代、80歳以上）

障害者：240名

（視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、内部障害、知的障害、精神障害）

妊娠中の人：40名

子ども連れの人：40名

健常者：90名（サポート経験のある人、ない人）

(2) 調査方法

調査票による個別面接調査

(3) 調査項目

公共交通機関、街なか、宿泊施設、商業施設、情報・各種製品のそれぞれの利用の場面ごとに、下記の事項を対象者別に聞き取る。調査項目は次ページの通り。

対象者が不便さを感じる時：高齢者、障害者、妊娠中の人、子ども連れの人

不便だったこと、必要なサポート：高齢者、障害者、妊娠中の人、子ども連れの人、健常者

サポートをする上で配慮して欲しいこと：高齢者、障害者、妊娠中の人、子ども連れの人

サポートをする上で知りたいこと：健常者

サポートを行った理由：健常者

回答者の属性：性別、年齢、職業、家族構成、外出頻度、身体状況、介護経験

調査項目

調査項目	分類	質問内容	高齢者	障害者	子ども連れの人	妊娠中の 人	健常者
この1年間で困っている 場面で支援した こと A:利用場面 B-1:サポート内容 B-2:サポート理由 B-3:知っておきたい こと B-4:必要なこと	公共交通機関	問1.駅・鉄道	-	-	-	-	
		問2.バス・バス乗り場	-	-	-	-	
	街なか	問3.歩道・道路・信号等	-	-	-	-	
	宿泊施設	問4.旅館・ホテル	-	-	-	-	
	商業施設	問5.スーパー・コンビニ・デパート	-	-	-	-	
			-	-	-	-	
		情報・各種製品	問6.電話・携帯電話・メール等	-	-	-	-
問7.身の回りの日用品 (衣類・食料用品・家具・電気ガス機器等) の使用	-	-	-	-			
この1年間で困った 場面や支援して欲しい こと A:利用場面 B-1:困ったこと B-2:最も困ったこと B-3:必要なサポート B-4:配慮して欲しい こと	公共交通機関	問1.駅・鉄道					-
		問2.バス・バス乗り場					-
	街なか	問3.歩道・道路・信号等					-
	宿泊施設	問4.旅館・ホテル					-
	商業施設	問5.スーパー・コンビニ・デパート					-
							-
		情報・各種製品	問6.電話・携帯電話・メール等				
問7.身の回りの日用品 (衣類・食料用品・家具・電気ガス機器等) の使用						-	
基本属性	F1.性別					-	
	F2.年齢						
	F3-1.就業形態						
	F3-2.直接接客の是非		-	-	-	-	
	F3-3.職場の直接サポートする 部署の有無		-	-	-	-	
	F4.身近の障害者の有無		-	-	-	-	
	F5.外出頻度						
	F6.最も多く利用している交通機関						
	F7.F6の利用目的						
	F8.家族構成						
	F9.現在の身体状況(障害の程度・ 妊娠月数含む)						
	F9.障害者手帳の有無と等級		-	-	-	-	-
	F10.介護経験の有無		-	-	-	-	
F11.ボランティア経験の有無		-	-	-	-		
F12.困っている場面で支援した 経験の有無		-	-	-	-		

(4) 調査時期

2007年2月～3月

(5) 調査結果

面接はご協力をいただける方およそ500名を目標として実施し、回答していただいたのは488サンプル、集計対象としたものは481サンプルである。

		栃木	群馬	埼玉	東京	神奈川	小計	合計
高齢者	70代	3	0	10	16	12	41	87
	80歳以上	3	2	10	19	12	46	
障害者	視覚障害	2	3	5	15	13	38	229
	聴覚・言語障害	2	3	8	11(18)	10	34	
	肢体不自由	2	4	9	17	11	43	
	内部障害	1	0	9	10	11	36	
	知的障害	2	0	9	16	11	38	
	精神障害	1	5	10	13	11	40	
妊娠中の人		2	1	9	16	11	39	39
子ども連れの人		2	3	9	15	11	40	40
健常者(*)	サポート経験あり	3	3	10	20	15	51	91
	サポート経験なし	3	3	10	15	9	40	
合計		26	27	108	183 (190)	137	481(488)	

()内は、集計しているが自由回答にのみ反映しているサンプル。

*健常者は日常的に仕事やボランティアで高齢者や障害者をサポートしている人(サポート経験あり)と、頼まれれば行うが日常的には行っていない人(サポート経験なし)に分けて調査を行った。

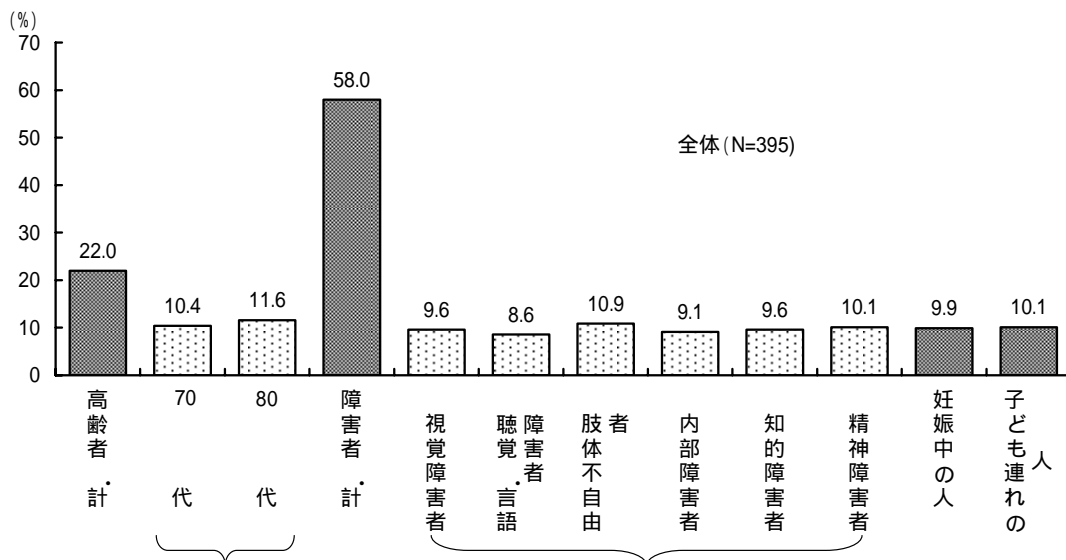
3 回答者属性

【サポート必要者】

- ・調査区分としては、高齢者が 22.0%、障害者が 58.0%、妊娠中の人 が 9.9%、子ども連れの人 が 10.1% である。
- ・調査地域は東京都が 38.7%、神奈川県が 28.6%、埼玉県が 22.3%、群馬県が 5.3%、栃木県が 5.1% である。
- ・本人が回答した人が 61.3%、介助者の補助を受けた人が 18.7% である。
- ・利用している交通機関では、全体として、「買い物(59.0%)」、「余暇活動・趣味活動(44.8%)」、「通院(43.0%)」の順となっている。
- ・家族構成は「二世帯同居(親と子どもが同居)」の人が 46.8%、「夫婦のみ」が 22.3%、「一人暮らし」が 16.5% などが多い。
- ・高齢者と障害者の障害状況では、高齢者で「何らかの問題がある」と回答した人は 64.4% である。障害者では障害区分に沿って調査を依頼したが、重複障害のある人が多く、障害者のうち、肢体不自由者が 24.9% を占めている。
- ・子ども連れの人 の末子の年齢が「0歳」という人が 40.0% である。
- ・妊娠中の人については、妊娠月数が後期(8ヶ月～10ヶ月)の人が 51.3% となっている。

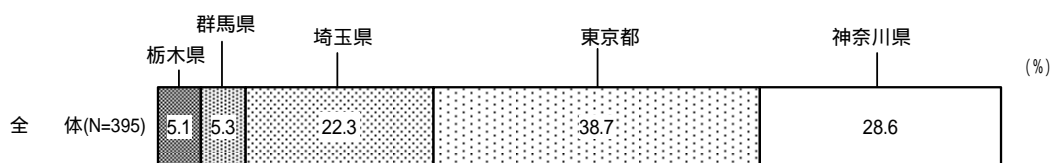
(1) 調査区分

図表 1 - 3 - 1 調査区分 (全体)



(2) 調査地域

図表 1 - 3 - 2 調査地域 (全体)



(3) 回答方法

図表 1 - 3 - 3 回答方法 (全体)



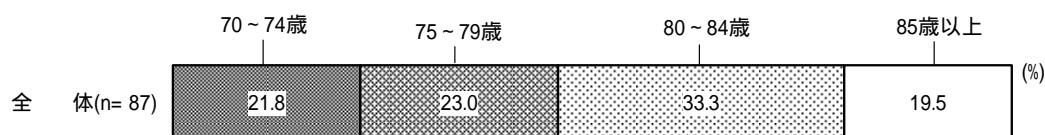
(4) 男女比

図表 1 - 3 - 4 男女比 (全体)

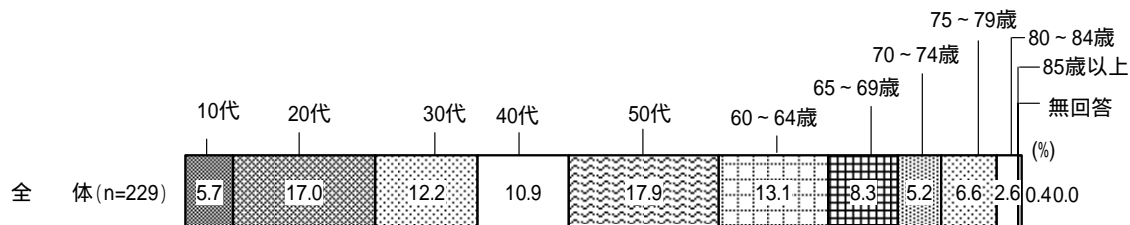


(5) 内訳別にみた年代

図表 1 - 3 - 5 - 年代構成 (サポート必要者 / 高齢者、全体)



図表 1 - 3 - 5 - 年代構成 (サポート必要者 / 障害者、全体)



図表 1 - 3 - 5 - 年代構成（サポート必要者 / 子ども連れの人、全体）

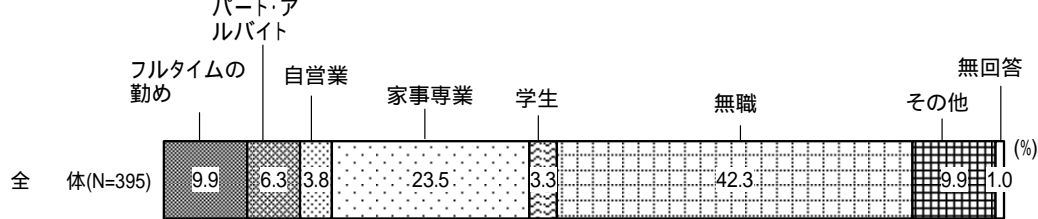


図表 1 - 3 - 5 - 年代構成（サポート必要者 / 妊娠中の人、全体）

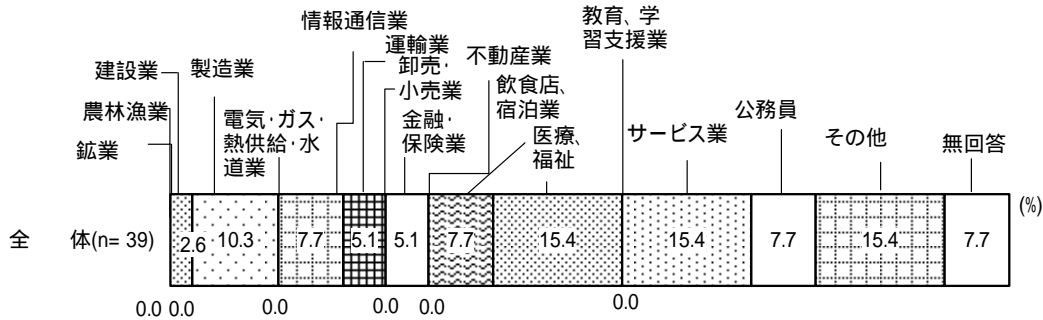


(6) 就業形態

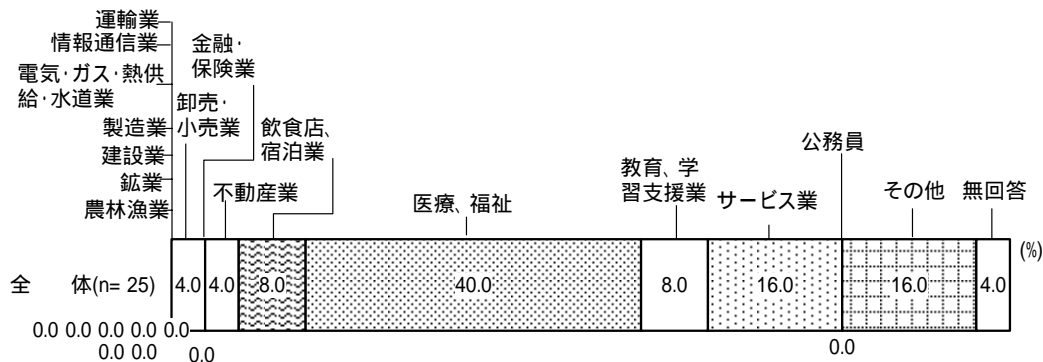
図表 1 - 3 - 6 - 就業形態（サポート必要者、全体）



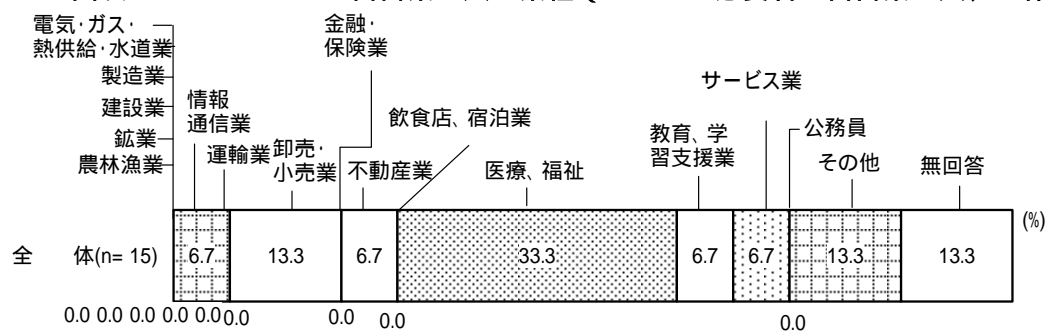
図表 1 - 3 - 6 - フルタイムの勤めの人業種（サポート必要者 / フルタイムの勤めの人、全体）



図表 1 - 3 - 6 - パート・アルバイトの人の業種（サポート必要者 / パート・アルバイトの人、全体）

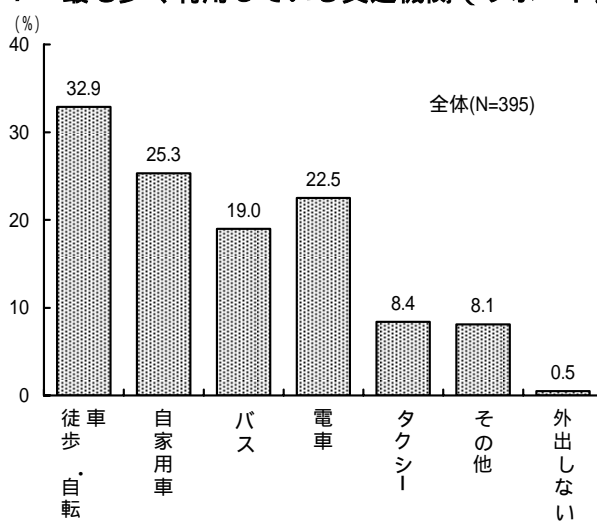


図表 1 - 3 - 6 - 自営業の人の業種 (サポート必要者 / 自営業の人、全体)



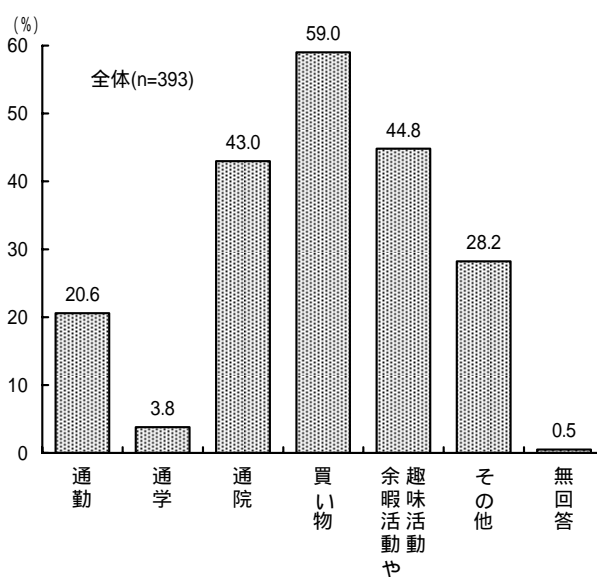
(7) 最も多く利用している交通機関

図表 1 - 3 - 7 最も多く利用している交通機関 (サポート必要者、全体)



(8) 最も多く利用している交通機関の利用目的

図表 1 - 3 - 8 最も多く利用している交通機関の利用目的 (「ある」人、サポート必要者、全体)



(9) 家族構成

図表 1 - 3 - 9 世帯構成 (サポート必要者、全体)

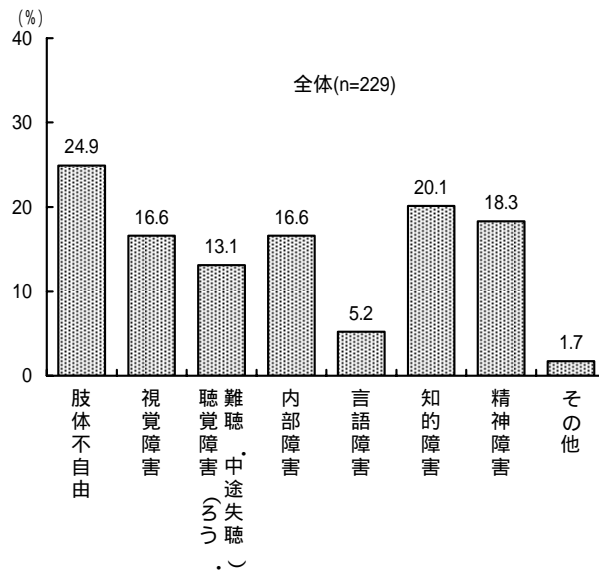


(10) 現在の身体状況

図表 1 - 3 - 10 - 障害の状況 (サポート必要者 / 高齢者、全体)



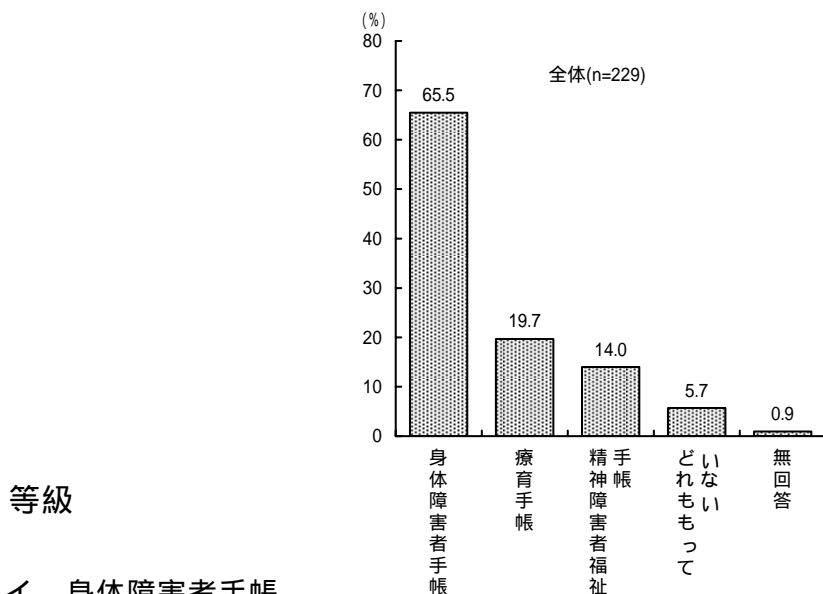
図表 1 - 3 - 10 - 障害の状況 (サポート必要者 / 障害者、全体)



(11) 障害者手帳の有無と等級

障害者手帳保持者

図表 1 - 3 - 11 - 障害者手帳保持者 (サポート必要者 / 障害者)



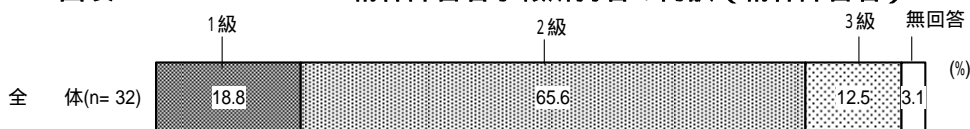
イ 身体障害者手帳

図表 1 - 3 - 11 身体障害者手帳所持者の内訳 (身体障害者)



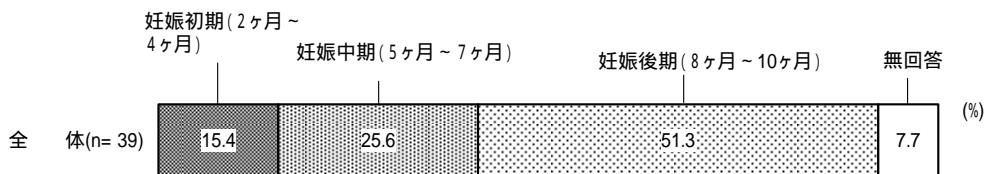
ロ 精神障害者手帳

図表 1 - 3 - 11 - 精神障害者手帳所持者の内訳 (精神障害者)

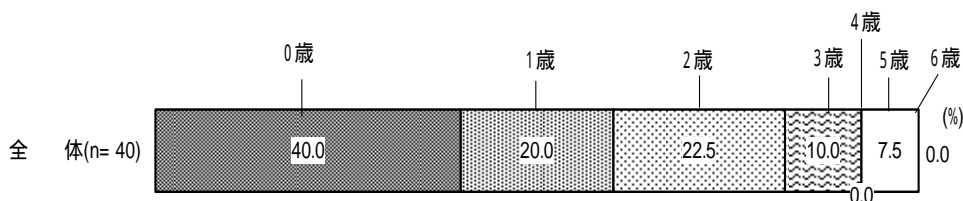


(12) 子どもの年齢、妊娠月数など

図表 1 - 3 - 12 - 妊娠中の人の妊娠月数 (サポート必要者 / 妊娠中の人、全体)



図表 1 - 3 - 12 - 子ども連れの人の子どもの年齢 (サポート必要者 / 子ども連れの人、全体)



【健常者】

- ・ 男女比では、「女性」が72.5%、「男性」が23.1%である。
- ・ 年代は「50代」が33.0%、「40代」が22.0%で多い。
- ・ 就業形態は、「パート・アルバイト」の人が35.2%、「フルタイム」が31.5%である。
- ・ 就業者の仕事の内容として、「直接対面する」人は58.2%、「直接対面しない」人が23.1%で、半数の人が人と対面する仕事をしている。
- ・ 外出頻度は「毎日」という人が60.4%である。
- ・ 最も多く利用している交通機関としては、「徒歩・自転車」が44.0%、「電車」が27.5%、「自家用車」が25.3%である。
- ・ 最も多く利用している交通機関の利用目的は、「通勤」が61.5%、「買い物」が52.7%と半数を超えている。
- ・ 世帯構成は、「2世代同居」が58.0%で圧倒的に多い。
- ・ 介護経験がある人が半数、サポート経験者も約半数である。

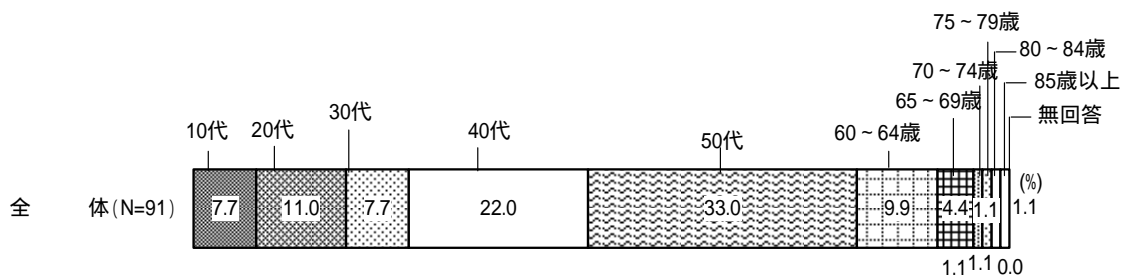
(1) 男女比

図表1-3-13 男女比(健常者、全体)



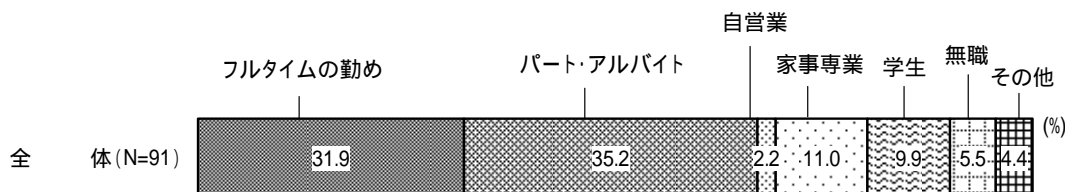
(2) 年代

図表1-3-14 年代構成(健常者、全体)



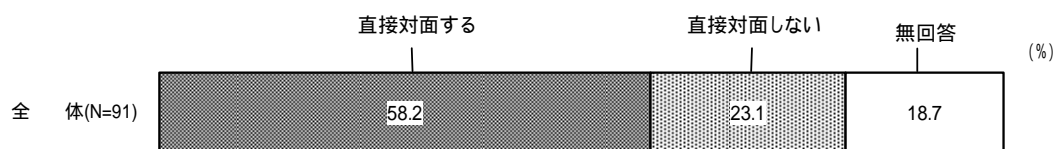
(3) 就業形態

図表1-3-15 就業形態(健常者、全体)



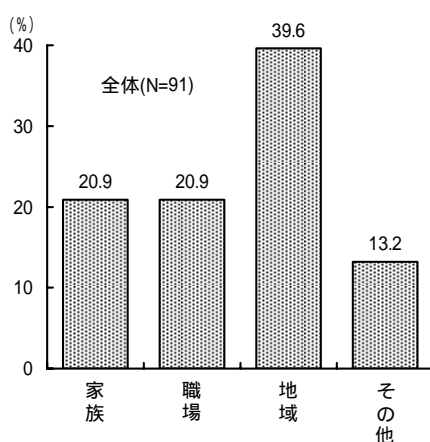
(4) 直接接客の是非

図表 1 - 3 - 16 直接接客の有無 (健常者、仕事をしている人)



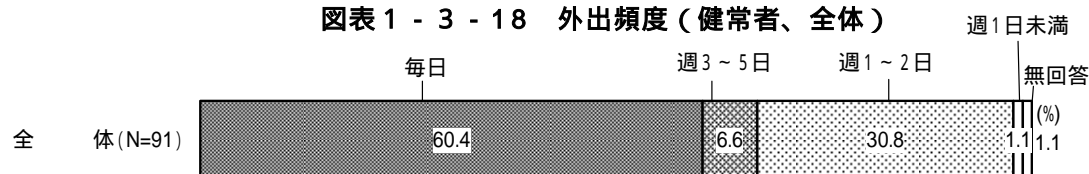
(5) 身近に介助が必要な人の有無

図表 1 - 3 - 17 身近な場での介助が必要な人の有無 (健常者、全体)



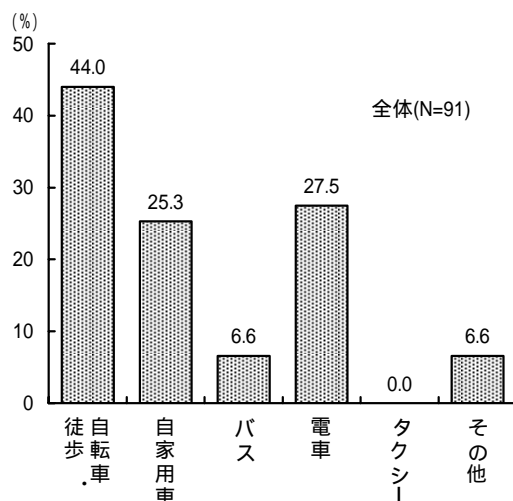
(6) 外出頻度

図表 1 - 3 - 18 外出頻度 (健常者、全体)



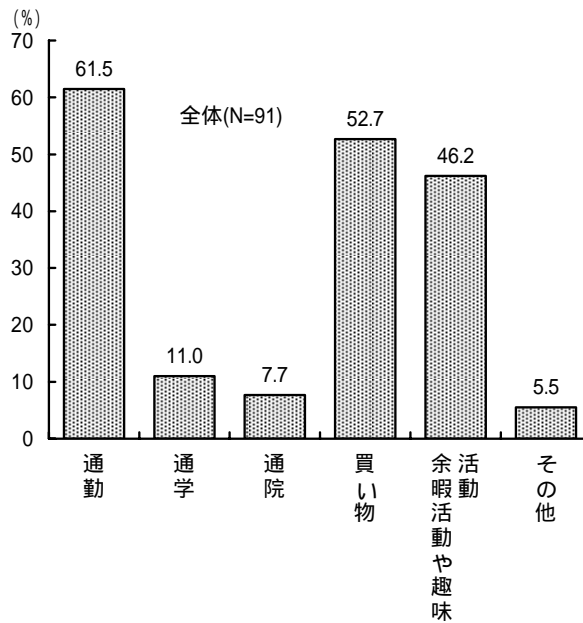
(7) 最も多く利用している交通機関

図表 1 - 3 - 19 交通機関 (健常者、全体)



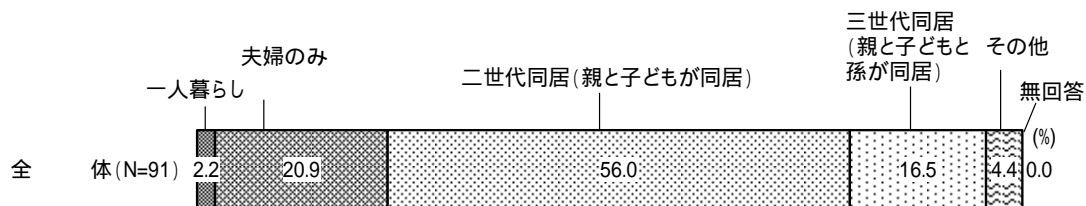
(8) 最も多く利用している交通機関の利用目的

図表 1 - 3 - 20 利用している交通機関(「ある」人、健常者、全体)



(9) 家族構成

図表 1 - 3 - 21 世帯構成 (健常者、全体)



(10) 介護経験の有無

図表 1 - 3 - 22 介護経験の有無 (健常者、全体)



(11) サポート経験の有無

図表 1 - 3 - 23 サポート経験の有無 (健常者、全体)

